

通信小海

「最大の愛」

牧師 荒俣 実
あらしみ まこと

これは実際にあった出来事です。

1955年9月、5人の宣教師が赤道直下にあるエクアドル共和国のジャングルの奥地で、アウカ族の住居を発見しました。宣教師たちは、福音を聞いたことのない彼らのもとに足を運び、彼らの友になろうと試みます。言葉の通じない相手に、宣教師たちは、プレゼントを贈って好意を示し続けました。互いに贈り物をやり取りできる関係を築いた頃、突然、アウカ族にその5人の宣教師たちは殺されてしまったのです。しかし、残された宣教師の家族はそれを受け止め、アウカ族に福音を伝えるために、友になる努力を続

「今月のみことば」

「人がその友のためにいのちを捨てるという、これよりも大きな愛はだれも持っていない。」 ヨハネ15・13

けます。そして数年後、殺された宣教師の妻の一人がアウカ族の村に足を踏み入れたのです。彼女は、自分の夫の命を奪った相手に対し、敵意ではなく、愛をもって歩み寄り、ついに福音がアウカ族に届けられました。宣教師たちが命がけて伝えようとした「福音」とは、何だったのでしょうか。

「福音」とは、今から約2000年前にユダヤ地方のベツレヘムの町で誕生したイエス・キリストが、神の御子であり、私たち人間を天国へ導く救い主である、という「良い知らせ」です。

キリストは、人々に罪を悔い改めるよう説き、神の国が近づいたことを知らせました。飢えた人々に食べ物を与え、病の人を癒し、悪霊に憑かれた人々を解放されたのです。不正を憎み、正義を愛したキリストは、当時の権力者

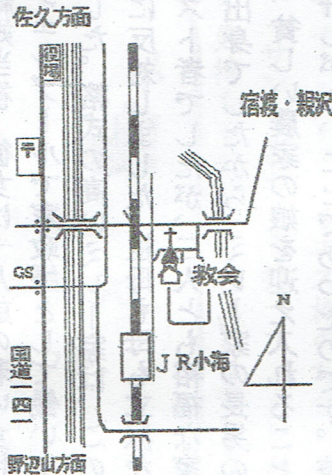
日本同盟基督教団 小海キリスト教会

南佐久郡小海町大字小海四三五・二七

〒三八四・二〇二 電話0267・88・7169

〒振替 00530・0・61683

見晴台の教会へどうぞ



集会あんない

日曜日 朝礼拝 午前十時から十一時半

夕礼拝 午後八時から九時

*海尻・川上で家庭集会を実施。詳細は教会HPでご確認ください。*個人的な聖書勉強や個人的な相談にも乗ります。

*初めての方も遠慮なくお越しください。

(金) 夕8:00から聖書の学びをしております。

者たちの不正を断罪されました。そして、彼らの反感とねたみから非公式な裁判で有罪とされ、十字架に架けられたのです。キリストは、ご自分を十字架に架けた人々のために、天の父なる神様に祈りました。「父よ。彼らをお赦しください。」彼は、自分をねたみ殺そうとしている人々をさえも赦し、愛されたのです。

アウカ族に命がけで福音を伝えようとした宣教師たちの姿と、キリストの姿が重なります。キリストは、弟子たちに言われました。「人がその友のためにいのちを捨てるという、これよりも大きな愛はだれも持つていません。」彼は、人類の友となるために、ご自分のいのちを捨てるほどの愛をもって地上に来てくださったのです。それがクリスマスです。

この大きな愛を受け取ってください。キリストを心にお迎えする時、神の愛が分かります。是非、救い主のご降誕を共にお祝いしましょう。



連載

信仰の眼で読み解く絵画



岡山 敦彦 【著】

第二章 ミレー

〜農民画家としての信仰の生涯〜

⑦

パリに出てきて画家としての本格的な第一歩を踏み出し、結婚をして再出発を誓ったにもかかわらず、ミレーの画家人生の始まりは試練の連続でした。

主イエスは主の祈りの中で「我らをこころみにあわせず、悪より救いください」と祈ることを教えてくださいました。それにもかかわらず、私たちは思いがけない試み、欲しもしない試練にあらうことがあります。なぜでしょうか。聖書はこのように教えます。「銀にはるつば、金には炉、人の心をためすのは主」。銀や金が、混じり物のな

い銀や金になるには、るつばや炉に入れられることが必要です。ミレーが人の心に深い感動を与える画家になるため、後に農民画家と呼ばれるためには、通らなければならぬこころみ、試練の道だったのです。

ミレーは、最初の妻オノが亡くなった後、独身で過ごす気はなかつたようです。彼の前に、カトリーヌ・ルメールと言う貧しい農家の出の女性が現れました。結婚当初、彼女は十八歳の若い女性で、シエルプールで家政婦として働いていました。格式の高いミレー家は、この結婚に反対しました。祖母も母も立派なキリスト者でしたが、二人とも裕福な家庭の出身でしたから、ミレー家の長男の嫁に、貧しい農家の娘を迎え入れることは、許しがたいことであつたのです。彼女は、許しがたいことであつたのです。彼女たちは、当時の風習、家の格式から解放されていませんでした。聖書は、すべての人は神の前に平等と教えていても、それを受け入れることのできない人間の愚かさを見ます。

〈続く〉

ニチニチソウ

日日草・日々想



「サンタの心」

「クリスマスと言えば？」と聞くと、「サンタクロース!」「プレゼント!」という答えが圧倒的な日本では、「イエスさまのお誕生日」という認識が薄く、つい「サンタじゃない!」と言いたくなってしまいます。

けれども「プレゼント」に込められる愛の心は、大事にしたいものです。相手を想い贈り物をする「サンタの心」は、そもそもイエスさまから来ているものだからです。イエス様は「受けるよりも与える方が幸いである」と語られて、「与える愛」を究極的に教えてくださった十字架のお姿に、愛するということの本質を示されました。

プレゼントは、大切な人への愛情表現の一つでもあります。誰かのために何かをしたい、相手に喜んでもらいたい、そう思う気持ちから生まれるものだと思います。物に限らず、思いやりや差し出す手、共に過ごす時間と言ったものも「与える愛」であると言えるでしょう。ところが、与えるばかりでは尽きてしまうのが人間の本当の姿。寂しいかな、人間の愛というのは枯渇してしまうもの。自分もいつも愛されていたい、望む報いによって満たされていたいというのが正直なところだと思えます。

そのことに目を向けるなら、家族のため、人のためにと奔走して尽くす前に、まず自分自身が満たされているということ。これは、本当に大切なことですね。

物やお金によってではなく、感謝と喜びによって人の心を絶えず満たすことができるもの、それが神様の愛です。

正直に、素直に「私の心を満たして下さい」と祈り、聖書を開く時に、神様からのプレゼントとしてみことばが与えられます。クリスマスに限らず365日

いつでも何度でも!こんな素敵なプレゼントに満たされた心から生まれる愛は、枯れてしまうことはないでしょう。時々、ちよつと枯れ気味になつてしまふのが、まだまだな私の心なのですが、神様の愛と恵みを深く味わい、たっぷり満たされて、クリスマスに備えていきます。そして、イエス様のお姿に倣つて、「サンタの心」を持って、人と向き合う気持ちを新たにしたいと思います。

遊びにおいて♪

ハレルヤキッズ!!

★クリスマス・スペシャル★

12月は16日(土)1:00~3:00

ペープサート劇、さんび、クラフト、

おやつタイム 参加無料

お家の方も、ぜひどうぞ!

Merry Christmas

メリークリスマス

教会で、本当のクリスマスをお祝いしませんか？

演奏、賛美、聖書のみことば…

静かな夕べを共に過ごしましょう。

大人の方、お子さま、教会が初めての方、地域の皆さん、

どなたも遠慮なくお越しください。

神様の祝福があります。



日時：12月24日（日） 午後6時から

◎ 軽食・茶菓のご用意がございます ◎

場所：小海キリスト教会（小海4355-27 見晴台）

路上生活者支援

山谷（やま）農場

ありがとうございます

続々とお米や支援物資をお寄せ下さり、心から感謝します。年越しの炊き出しも十分に行えるよう、おにぎりに必要な梅干しや海苔、割り箸、物資の郵送に必要な切手等も、ぜひ宜しくお願ひします。

〈連絡先〉 藤田 寛

☎ 090・1436・6334

FAX 042・786・2088

メール nyoro@beige.ocn.ne.jp

〈物資送付先〉 小海キリスト教会、または、南牧村社協へ。〒384・1302南牧村大字海ノ口966・15南牧村社会福祉協議会気付 山谷農場

*着払い送付はご遠慮ください。

*土曜日の配達指定でお願いします。

山谷農場事務局（藤田）小海町芦谷ヒルサイドコーポ一〇二号室 毎週土曜

カンパ：〒振替〇〇二四〇・四・五三七九六